

第 68 回 化学物質ウォッチング (2020 年 10 月号)

2020 年 10 月 3 日(土)
彩の国環境大学修了生の会
化学物質部会
宇塚秀明 会員番号 308

第 68 回 化学物質ウォッチングは、2020 年 8 月下旬～2020 年 9 月下旬分の新着情報です。

1. 化学物質管理に関する新着情報
2. 食品安全に関する新着情報
3. 環境一般、その他の新着情報
4. 無料セミナー情報
5. ガイドブック、パンフレット、情報誌など
6. 新型コロナウイルス COVID-19 情報

1. 化学物質管理に関する新着情報

- ① フロン排出抑制法に基づくフロン類の再生量等及び破壊量等の集計結果 (令和元年度分)
経済産業省 ニュースリリース 2020 年 8 月 31 日
<https://www.meti.go.jp/press/2020/08/20200831003/20200831003.html?from=mj>
→ フロン類の種類別に見ると、CFC(クロロフルオロカーボン)が約 93 トン、HCFC(ハイドロクロロフルオロカーボン)が約 1,538 トン、HFC(ハイドロフルオロカーボン)が約 2,476 トンであり、平成 30 年度と比較して CFC の破壊量は 19.4%減少、HCFC の破壊量は 13.9%減少、HFC の破壊量は 0.8%増加しています。
- ② 海洋プラスチックごみ及びマイクロプラスチックに関する専門家会合のアジア太平洋地域会合の結果
環境省 報道発表資料 2020 年 9 月 15 日
<http://www.env.go.jp/press/108371.html>
→ 概要(別添) <http://www.env.go.jp/press/files/jp/114750.pdf>
- ③ 薬事・食品衛生審議会 (食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会)
厚生労働省 2020 年 9 月 18 日 開催
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-yakuji_127891.html
→ 食品中の残留農薬、残留基準設定についての審議会です。上記 URL から議事録や資料が入手できます。
- ④ PFOS 含有泡消火薬剤全国在庫量調査の結果
環境省 報道発表資料 2020 年 9 月 25 日
<https://www.env.go.jp/press/108457.html>
→ PFOS はストックホルム条約付属書 B で、製造・使用、輸出入が特定の用途、目的に制限。我が国では化審法第一種特定化学物質として、製造・輸入・使用等が原則禁止されています。
環境省は、引き続き、関係省庁及び関係団体と連携し、PFOS 等を含有する泡消火薬剤の代替促進等の施策を推進していくとのこと。
- ⑤ 第 9 回職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会 資料
厚生労働省 2020 年 9 月 30 日 開催
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13770.html

→ 配布資料が公開されました。危険有害性等の情報伝達について、一般消費者向けの製品の取扱いが論じられています。

⑥ 内分泌かく乱物質問題

経済産業省

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/other/naibunpi.html

→ EU 及び米国を始めとした各国における内分泌かく乱物質の規制動向の把握のため、動向調査の委託を行っています。

米国及び EU における内分泌かく乱物質の規制動向 (JFE テクノリサーチ)

令和 2 年度 [4月](#) [5月](#) [6月](#) [7月](#) [8月](#)

2. 食品安全に関する新着情報

① 令和 2 年度食品ロス削減月間について

環境省 報道発表資料 2020 年 9 月 25 日

<https://www.env.go.jp/press/108460.html>

→ 10 月は「食品ロス削減月間」、10 月 30 日は「食品ロス削減の日」です。消費者庁、農林水産省、環境省の取り組みを紹介。

消費者庁 <https://www.caa.go.jp/notice/entry/021285/>

農林水産省 <https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/200925.html>

② 水を飲む良い方法 Good practices for drinking water consumption

フランス食品・環境・労働衛生安全庁 (ANSES)

<https://www.anses.fr/en/content/good-practices-drinking-water-consumption>

→ 国立医薬品食品衛生研究所の [食品安全情報\(化学物質\) No.20 \(2020.09.30\)](#) P17~P19 に和訳で掲載されています。

ボトル入り飲料水か水道水、どちらにすべき？水分を十分に摂取するには、毎日どのくらいの水を飲む必要がある？水道水に時折感じる塩素臭を取り除く最も簡単な方法は？水の保管にはどんな容器を使用すべき？ポット型浄水器はボトル入り飲料水の代わりになる？この新しい記事で、ANSES はすべての質問に答える。

③ 世界の穀物生産における温暖化への適応費用を試算

農研機構 2020 年 10 月 1 日 掲載

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/136782.html

→ 2°C 上昇で年間 610 億ドル、対策困難な被害の増加も

3. 環境一般、その他新着情報

① 音声モニタリングによる福島県避難指示区域内および周辺のカエル類出現分布データの公開

国立環境研究所 2020 年 9 月 7 日 掲載

<https://www.nies.go.jp/whatsnew/20200907/20200907.html>

→ これらのデータを基に、住民避難や帰還による被災地の生態系変化の実態解明が進むことが期待されます。

② 次期生物多様性国家戦略研究会

環境省 生物多様性

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/initiatives5/index.html>

→ わが国は平成7年に最初の生物多様性国家戦略を策定し、これまでに4度の見直しを行いました。
2020年から次期生物多様性国家戦略の策定に向けた検討を開始。2020年9月15日に第4回会
合が開催され配布資料が公開されています。

③ 温暖化による全球乾燥度の変化と人為起源の影響を分析

～世界の平均気温の上昇を1.5°Cに抑えることで、乾燥化を大幅に抑制可能～

東京大学 生産技術研究所 プレスリリース 2020年9月17日

<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/news/3353/>

→ この100年で深刻化してきた地球の乾燥化の主な原因は、人間の活動が引き起こした地球温暖化
にあると考えられる。

④ デジタル変革を通じた新しい地域と社会の構築（総務省重点施策2021）

総務省 報道資料 2020年9月30日

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kanbo05_02000138.html

→ 公表資料はこちら https://www.soumu.go.jp/main_content/000708927.pdf

4. 無料セミナー情報

① 地球温暖化を予測する ～地球規模の変化から身近な影響まで～ オンライン講演会

文部科学省 統合的気候モデル高度化研究プログラム 日程 2020年10月16日

<http://www.jamstec.go.jp/tougou/event/sympo/2020/index.html>

→ Zoomによるオンライン講演会です。申込〆切 10/16 先着順

チラシ http://www.jamstec.go.jp/tougou/event/sympo/2020/images/TOUGOU_A4.pdf

② ケミカルマテリアル Japan 2020 オンライン展示会

化学工業日報 主催 会期 2020年10月19日～11月18日

<https://www.chemmate.jp/on2020/>

→ オンライン展示会とは、登録(無料)することで「どなたでも」参加でき、インターネットがつながる
環境であれば「いつでも」「どこでも」、開催期間中であれば「何度でも」来場することができるオ
ンラインイベントです。出展企業のブースでは動画や電子ファイルを閲覧・ダウンロードし、シアター
会場では講演コンテンツなどをお楽しみいただけます。

(昨年まではパシフィコ横浜で、2日間の会期で開催されました。登録には勤務先情報等の入力を
求められますが私は、彩の国環境大学修了生の会、所在地・電話番号は自宅を入力しました。)

③ NITE 講座（2020年度 オンラインセミナー）

製品評価技術基盤機構(NITE) 日程 2020年10月9日～11月13日

<https://www.nite.go.jp/chem/news/info20200916.html>

→ 内容は、「化学物質に関するリスク評価とリスク評価の基礎知識」です。本講座は化学物質管理に
携わる人や化学物質のリスク評価に興味のある人を対象にしていますが、どなたでも気軽に受講で
きます。日程は全6日13講義から成り、関心のある講義だけを選択して1講義でもOK。

各講義の定員は500名、先着順、Zoomによるライブ配信です。

5. ガイドブック、パンフレット、情報誌など

① 化学物質管理セミナー資料、パンフレット

経済産業省

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/information/info_seminar.html

→ 化学物質管理セミナーキャラバン 2019 SDS・ラベル作成の概要

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/information/seminar2019/caravan2019rev.pdf

② PRTR データを読み解くための市民ガイドブック

環境省 PRTR インフォメーション広場 2020年9月23日 掲載

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/guidebook.html>

→ このガイドブックは、PRTR 制度によって知ることができる化学物質の排出・移動情報を読み解いて、化学物質に関する理解を深めていただくための本です。必見です。

全文ダウンロード http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/guide_H30/zenbun.pdf

③ 広報誌 大きな目小さな目 2020年9月号 No.61

農林水産消費安全技術センター (FAMIC) 2020年9月18日 掲載

http://www.famic.go.jp/public_relations_magazine/kouhoushi/index.html

→ 肥料の成分ってなあに？ 農薬ってどんなもの？ 等について記載されています。

全文ダウンロード

http://www.famic.go.jp/public_relations_magazine/kouhoushi/back_number/202009-61.pdf

④ 環境ニュース 168号 2020年10月

埼玉県環境検査研究協会

<http://www.saitama-kankyo.or.jp/book.html>

→ 主な記事「有機フッ素化合物 PFOS、PFOA の水環境中の実態について」

全文ダウンロード

<http://www.saitama-kankyo.or.jp/pdf/book/news-168.pdf>

6. 新型コロナウイルス COVID-19 情報

① コロナ後の日本の未来と希望を考える会 ～気候危機を乗り越え、新しい自然共生を目指す～

環境省 報道発表資料 2020年8月21日

<https://www.env.go.jp/press/108318.html>

→ 国立環境研究所の五箇公一さんが座長の勉強会で、3回開催されました。主に生物多様性、自然共生の観点から論じられましたが、示唆に富みとても面白いです。下記に資料が公開されました。

[議事要旨\(第1回\)はこちら](#) [議事要旨\(第2回\)はこちら](#) [議事要旨\(第3回\)はこちら](#)

五箇座長からのメッセージ [メッセージ文はこちら](#)

② 新型コロナウイルス感染症対策 特別ページ

内閣官房 随時更新

<https://corona.go.jp/>

③ 新型コロナウイルス感染症について

厚生労働省 随時更新

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

④ 新型コロナウイルス感染症総合サイト

埼玉県 随時更新

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/covid19_sougousite.html

以上